



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 森尾電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6647 URL <http://www.morio.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊地 裕之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 木下 寛 (TEL) 03-3691-3181  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	6,660	15.8	292	165.8	298	173.1	198	190.8
2018年3月期第3四半期	5,753	17.9	109	△52.8	109	△52.5	68	△52.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 286百万円(56.6%) 2018年3月期第3四半期 182百万円(10.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	144.09	—
2018年3月期第3四半期	49.55	—

(注) 当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	10,146	4,032	39.7
2018年3月期	9,189	3,800	41.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 4,032百万円 2018年3月期 3,800百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	8,090	△4.8	280	△3.4	270	△4.1	180	△14.3	130.86	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	1,425,000株	2018年3月期	1,425,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	49,542株	2018年3月期	49,542株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	1,375,458株	2018年3月期3Q	1,375,515株

※当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用情勢、所得水準に改善が見られ、穏やかな回復基調にあります。一方、米中貿易戦争や、英国のEU離脱問題等による日本経済への影響などの不確実性が高く先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは積極的な営業活動を展開しました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は66億60百万円（前年同四半期比9億6百万円、15.8%増）となり、受注高は63億97百万円（前年同四半期比5億56百万円、9.5%増）となりました。

セグメント別業績は、次のとおりであります。

#### [電気機器製造販売事業]

電気機器製造販売事業の売上高は65億50百万円（前年同四半期比9億9百万円、16.1%増）となり、受注高は63億97百万円（前年同四半期比5億56百万円、9.5%増）となりました。

主力の鉄道関連事業につきましては、主に国内通勤近郊電車等の車両需要向けを中心に受注活動を展開した結果、売上高は52億87百万円（前年同四半期比8億31百万円、18.6%増）となり、受注高は47億77百万円（前年同四半期比6億15百万円、14.8%増）となりました。

自動車関連事業につきましては、各高速道路会社等に対し車載標識車を中心とする受注活動を展開した結果、売上高は11億17百万円（前年同四半期比3百万円、0.3%増）となり、受注高は14億26百万円（前年同四半期比1億71百万円、10.7%減）となりました。

船舶等関連事業につきましては、防衛省関連等への出荷を中心に受注活動を展開し、売上高は1億45百万円（前年同四半期比74百万円、106.0%増）となり、受注高は1億93百万円（前年同期比1億12百万円、140.2%増）となりました。

#### [不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、各賃貸マンションが堅調な売上を維持しており、売上高は1億10百万円（前年同四半期比2百万円、2.3%減）となりました。

利益につきましては、好調な売上を背景に、当第3四半期連結累計期間の営業利益は2億92百万円（前年同四半期比1億82百万円、165.8%増）、経常利益は2億98百万円（前年同四半期比1億88百万円、173.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億98百万円（前年同四半期比1億30百万円、190.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて16.4%増加し、66億39百万円となりました。これは、主として棚卸資産が8億52百万円、現金及び預金が2億13百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億21百万円減少したこと等によります。

#### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、35億6百万円となりました。これは、主として投資有価証券が1億20百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて10.4%増加し、101億46百万円となりました。

#### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.4%増加し、47億7百万円となりました。これは、主として短期借入金金が5億22百万円、支払手形及び買掛金が2億70百万円増加し、賞与引当金が77百万円減少したこと等によります。

#### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、14億7百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が68百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて13.5%増加し、61億14百万円となりました。

(純資産)

株主資本は、前連結会計年度末に比べて4.4%増加し、33億81百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1億43百万円増加したこと等によります。

その他の包括利益累計額合計は、前連結会計年度末に比べて15.7%増加し、6億50百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が78百万円増加したこと等によります。

この結果、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、40億32百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,114,517	1,327,720
受取手形及び売掛金	2,627,463	2,506,018
商品及び製品	42,060	107,525
仕掛品	1,416,578	2,210,002
原材料及び貯蔵品	457,541	451,122
その他	48,540	37,374
流動資産合計	5,706,701	6,639,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,875,263	2,887,723
減価償却累計額	△1,353,647	△1,415,960
建物及び構築物(純額)	1,521,615	1,471,762
土地	63,665	63,720
その他	630,302	640,227
減価償却累計額	△425,698	△465,934
その他(純額)	204,604	174,292
有形固定資産合計	1,789,885	1,709,776
無形固定資産	376,751	361,708
投資その他の資産		
投資有価証券	1,252,026	1,372,567
その他	63,648	62,711
投資その他の資産合計	1,315,674	1,435,278
固定資産合計	3,482,312	3,506,763
資産合計	9,189,013	10,146,527

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,126,499	2,397,136
短期借入金	1,374,324	1,896,524
未払法人税等	72,125	48,490
賞与引当金	151,000	74,000
役員賞与引当金	22,000	-
その他	297,717	290,937
流動負債合計	4,043,666	4,707,087
固定負債		
長期借入金	817,576	855,928
繰延税金負債	185,022	253,248
その他	341,786	297,944
固定負債合計	1,344,384	1,407,121
負債合計	5,388,051	6,114,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,500	1,048,500
資本剰余金	897,272	897,272
利益剰余金	1,363,088	1,506,257
自己株式	△70,467	△70,469
株主資本合計	3,238,394	3,381,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564,116	642,962
為替換算調整勘定	△1,547	7,793
その他の包括利益累計額合計	562,568	650,756
純資産合計	3,800,962	4,032,318
負債純資産合計	9,189,013	10,146,527

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	5,753,932	6,660,647
売上原価	4,885,723	5,543,760
売上総利益	868,208	1,116,886
販売費及び一般管理費	758,241	824,618
営業利益	109,967	292,267
営業外収益		
受取利息	24	24
受取配当金	14,912	16,120
受取補償金	800	1,844
為替差益	-	5,696
雑収入	6,719	8,103
営業外収益合計	22,455	31,789
営業外費用		
支払利息	21,621	22,962
為替差損	1,565	-
雑損失	80	3,022
営業外費用合計	23,266	25,984
経常利益	109,157	298,072
特別利益		
固定資産売却益	3,492	-
特別利益合計	3,492	-
特別損失		
固定資産除却損	7,185	8,149
特別損失合計	7,185	8,149
税金等調整前四半期純利益	105,463	289,922
法人税、住民税及び事業税	6,628	64,928
法人税等調整額	30,680	26,807
法人税等合計	37,308	91,735
四半期純利益	68,155	198,187
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,155	198,187

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	68,155	198,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,210	78,846
為替換算調整勘定	1,513	9,341
その他の包括利益合計	114,724	88,187
四半期包括利益	182,879	286,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,879	286,375
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	電気機器 製造販売事業	不動産 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	5,640,881	113,050	5,753,932	—	5,753,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,640,881	113,050	5,753,932	—	5,753,932
セグメント利益	152,851	58,200	211,052	△101,084	109,967

(注) 1. セグメント利益の調整額△101,084千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△101,084千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	電気機器 製造販売事業	不動産 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	6,550,212	110,434	6,660,647	—	6,660,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,550,212	110,434	6,660,647	—	6,660,647
セグメント利益	359,280	56,120	415,400	△123,132	292,267

(注) 1. セグメント利益の調整額△123,132千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,132千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。